

# 再生可能エネルギーの推進策について

京都大学大学院経済学研究科

再生可能エネルギー経済学講座シンポジウム

日時

2015年12月21日（月）

10:30～17:35

会場

京都大学 東京オフィス  
(品川インターシティA棟27階)

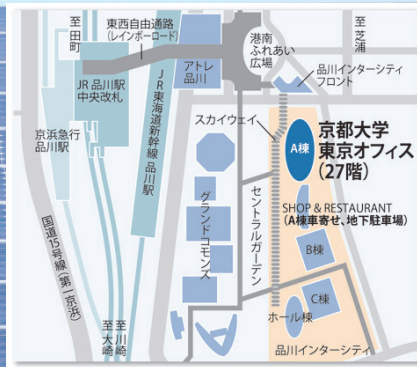
定員

150名

申込  
方法

下記URLからお申込みください。

[http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable\\_energy/entryform/](http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/entryform/)



【会場へのアクセス】

10:00 受付開始

10:30 開会挨拶

10:40 特別講演 「科学技術と持続可能な社会」

11:40 基調講演 「再エネを巡る動向と推進策」

12:20 昼食休憩

京都大学経済学研究科長 岩本 武和

滋賀大学学長 佐和 隆光

京都大学特任教授 山家 公雄

(午後・第1部)

13:30 講演 「欧州の再エネ推進政策」

京都大学特任教授 内藤 克彦

14:00 講演 「再エネを巡るファイナンス新潮流」

日本政策投資銀行(株)部長 増田 真男

14:30 講演 「再エネ普及のための系統運用・系統計画と制度設計」

関西大学准教授 安田 陽

15:00 講演 「電力システムと容量メカニズム」

電力中央研究所上席研究員 服部 徹

15:30 休憩

(午後・第2部)

15:45 講演 「再エネの力とエネルギー市場」

スプリントキャピタルジャパン代表 山田 光

16:15 講演 「FIT見直し議論について」

名古屋大学教授 高村 ゆかり

16:45 質疑 「会場からの質問と回答」

モデレーター 京都大学特任教授 山家 公雄

17:30 閉会挨拶(総括)

京都大学特任教授 山家 公雄

17:35 閉会

司会 京都大学特定助教 尾形 清一・中山 琢夫

主催: 京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座

共催: 京都大学大学院経済学研究科

ホームページ: [http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable\\_energy/](http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/)

入 場  
無 料

# 再生可能エネルギー経済学講座シンポジウム「再生可能エネルギーの推進策について」

## 【シンポジウムの趣旨】

温室効果ガス削減、エネルギー自給率向上、技術革新と新たな産業育成、地域資源活用による地方創造等様々な効果をもつ再生可能エネルギーに対する期待が、高まっている。世界中で推進策が採られてきており、ここ数年間のコスト低下と普及は予想を大きく上回る。日本は、3.11大震災を機に本格的に再エネ推進政策が採られているが、その主役は固定価格買取制度（FIT）である。

FITは、世界で多く採用されており、普及効果があると評価されている。FITの有効性は、事業収入の予見性を高め、民間投資を促すことにある。販売単価は予見を構成する主要だが一つ要素であり、他に立地、系統接続、稼働、金融等の多くの要素があり、トータルとしての予見性を高める必要がある。普及が進んでいる国は、FITだけでなく、総合的な予見性向上策を採っている。

本セミナーでは、総合的な対策を確認するべく、先行する海外の事例をも踏まえ、各分野の第一人者が解説する。現状、日本では、電力システム改革の具体策、FITの見直し等の議論が行われている。再エネが世界と遜色ない水準まで普及するには何が必要か、FIT見直しはどうあるべきか、が問われている。多くの方に参加いただき、一緒に考える機会の場合となれば幸いである。

## 【講師紹介】



佐和 隆光（さわ たかみつ） 経済学博士  
滋賀大学学長 専門は、計量経済学・環境経済学。東京大学経済学部卒業、京都大学経済研究所長、環境経済・政策学会長、中央環境審議会委員等を歴任。2007年に紫綬褒章受章。著書に『グリーン資本主義』、『日本経済の憂鬱』等多数。



山家 公雄（やまか きみお）  
京都大学特任教授・エネルギー戦略研究所所長、山形県エネルギー総合アドバイザーを務める。東京大学経済学部卒業、日本政策投資銀行調査部審議役、同行参事等を経て現職。第27回「エネルギーフォーラム」賞受賞。著書に『再生可能エネルギーの真実』、『日本海風力開発構想』等多数。



内藤 克彦（ないとう かつひこ）  
京都大学特任教授・エネルギー戦略研究所顧問 東京大学工学部卒業、同工学研究科で修士号取得。環境省総合環境政策局環境影響審査室長、同省水・大気環境局自動車環境対策課長、東京都港区副区長等を歴任し現職。論文に「ドイツと日本のグリッド運用の相違」等多数。



増田 真男（ますだ まさお）  
日本政策投資銀行企業金融第5部担当部長 京都大学経済学部卒業後、スタンフォード大学ビジネススクールで修士号取得。再生可能エネルギー案件に対する投融資及びクロスボーダー案件全般を担当、東京大学・学習院大学で非常勤講師を務める。



安田 陽（やすだ よう） 博士（工学）  
関西大学システム理工学部准教授、横浜国立大学工学部卒業、同工学研究科修了。日本風力エネルギー学会理事、IEA Wind Task25等の国際委員会メンバーも多数務める。著書に『日本の知らない風力発電の実力』、『風力発電導入のための電力系統工学』（共訳）等多数



服部 徹（はっとり とおる） 博士（経営学）  
電力中央研究所 事業制度・経済分析領域リーダー・上席研究員 国際基督教大学卒業、筑波大学大学院ビジネス科学研究科修了。資源エネルギー庁スマートメーター制度検討会委員等を歴任。論文に「容量メカニズムの選択と導入に関する考察」等多数。



山田 光（やまだ ひかる）  
慶応義塾大学経済学部卒業後、モルガンスタンレー東京支店等を経て、1995年に独立系エネルギー・コンサルティング会社である、スプリント・キャピタル・ジャパン株式会社を設立する。著書に『発電電分離は切り札か：電力システムの構造改革』、『ヨーロッパの電力・ガス市場 電力システム改革の真実』（監修）等多数。



高村 ゆかり（たかむら ゆかり）  
名古屋大学大学院環境学研究科教授 専門は国際法・環境法。京都大学法学部卒業、一橋大学法学研究科単位取得退学。総合資源エネルギー調査会・基本政策分科会「長期エネルギー需給見通し小委員会」「再生可能エネルギー導入促進関連制度改革小委員会」等の委員を務める。著書に『京都議定書の国際制度』、『気候変動と国際協調』等多数。